

## 第8章 計画の実現にむけて

### 1 都市づくりへの市民参画

地方分権時代を迎えた今日、市民と行政がそれぞれの責務と役割を認識して、市民自らの選択と責任による個性豊かな都市づくりが必要となっています。

都市づくりの主役は市民ひとり一人です。市民が積極的に都市づくりに参加できるように市民と行政が情報を共有し、ともに考え、ともに行動することが大切です。

最近、地域住民による先進的な取り組みとして、「自分たちで行いたいことは、自分たちの力でいう」という考えのもと、地域の核となる施設整備や施設管理などのほか、地域の植花などを行い住民主体の活動を活発に展開しています。こうした方々に出来る限り都市づくりへの参加機会をつくるほか、各地域の「協働ルーム」などの活用によって都市づくりへの市民参加を促進します。

市民に対し、都市づくりに対する広範な取り組みや活動を紹介し、情報交換や交流を深め、市民の都市づくりの輪を広げます。

#### (1) できることから始める市民参画

市民参画を大げさに考えると前には進めません。自分の生活の身の回りに目を凝らすと、ちょっとした不便や問題点に気がついたりします。

美しい市街地景観の大きな要素の一つに「みどり」があります。一般家庭や事務所、公共施設の庭木、公園の樹木、街路樹、河畔林などは、どれも美しい都市景観の構成要素となります。これらみどりを市民、事業者、行政と一緒に増やし、保全していくことも市民参画の一つです。家庭や企業、公共施設の庭でのガーデニングでも美しい市街地景観が創出されます。

ゴミのない道路には、だれもゴミを捨てなくなります。ひとつ一つ小さい行いの積み重ねが美しい都市を築くこととなります。

これからのさまざまな計画の策定にあたっては、市民アンケートやワークショップなどさまざまな方法がありますが、特にワークショップなどは、参加者が楽しい雰囲気の中で自由に楽しく自分の意見を出し合える市民参画のすぐれた手法として活用して行きます。

これからの市民と行政の協働による都市づくりは、「できることから始めよう」を合言葉に進めます。

#### (2) 市民参画の目標

生活者である市民の視点から使いやすい、暮らしやすい、住み続けたい都市づくりを効率的、効果的に進めます。そのためには、市民、事業者、行政が都市づくりに対して共通認識を持ち、それぞれの役割と責任を感じながら協働で都市づくりに取り組みます。

##### 【市民の役割】

都市景観に大きな役割を担う住まいづくりをはじめ、自分たちの暮らす地域がさらに暮らしやすくなるような地域活動の実践、市全体のさまざまな都市づくり計画への参画まで、できることから係わっていきます。

### 【事業者の役割】

企業活動は、経済や都市基盤整備など三笠市の発展を支えています。企業の社会的貢献度は大きく、将来に向けて企業が持つ、人材や技術力、情報などを都市づくりに活かし、都市の機能を高めていきます。

### 【行政の役割】

自らが都市づくりを担い、都市づくりをコーディネートします。市民が参画しやすい環境づくりや情報の提供、人材の育成、市民意識の啓発、地域の主体的活動の支援などを進めていきます。また、各種審議会や委員会への市民公募を進め、市民参加を促進します。

## (3) 都市計画と市民参加

市民と行政が協働で都市計画を進めていくため、個々の都市計画の決定、変更についても、できるだけ初期の段階から市民が参加し、その意見を反映できる仕組みを作ります。

また、近年、文化や福祉、環境保全、国際交流、都市づくりなどのさまざまな分野の社会的、地域的課題に対して自主的、主体的に取り組む民間の非営利組織NPOの活動が増加しています。今後、三笠市の都市づくりの分野においても、NPOが組織され、住民と行政の橋渡しの役割を担うことも期待されることから、これらの組織が活動しやすい環境を整えます。

## 2 マスタープランの運用

### (1) 都市計画の決定・変更

都市づくりの根幹となる具体的な都市計画の決定、変更については、都市計画マスタープランの方針に基づいて行います。決定・変更にあたっては、個々の案件に対して全市的な視点から検討を加え、市民の理解と合意のもとで行います。

用途地域の見直しは、人口の減少や低未利用地の動向を勘案し、土地利用の動向を勘案し、実態に応じて行います。

計画決定後、永く事業着手されていない都市計画施設の見直しを行います。

### (2) 都市計画マスタープランの実現化

都市計画マスタープランは、策定することが目的ではありません。新しい都市づくりに向け、都市計画マスタープランの方針に沿って、できることから計画を実現していきます。

### (3) 永遠に続く都市づくり「都市計画マスタープラン」の見直し

都市づくりに完成はありません。暮らしやすい都市づくりに向けた取組みは永遠に続きます。都市計画マスタープランは、本市のこれからの時代、時代に対応する「成長する計画」です。

本市を取り巻く広域的な社会情勢の変化や、経済、人口、土地利用の動向などに対し、総合計画の「基本構想」や「基本計画」の見直しなどと連動させて、適切に見直しを行い、よりよい計画へと発展させます。